学校番号	301

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	新訂　ペン習字教本（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

中国や日本の優れた古典作品を鑑賞・臨書して、書の様々な美しさを感じ取る能力を養う。また、基礎的な表現技術を習得する。さらに、作品制作のための感性を養い、書を愛好する精神を育成することをめざす。
【 知識及び技能 】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現すつための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【 思考力、判断力、表現力等 】
書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【 学びに向かう力、人間性等 】
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式､書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき､作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	書道で学習すること・書写から書道へ	・芸術科書道の学習内容を示す ・書写と書道の違い・関係の理解 ・教科書の作品、展示作品の鑑賞 ・年間の作品制作の概要 ・書道の学習の理解	a:　姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 b:書は書く人の個性が現れることを理解し、書のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:　書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち理解し、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート
	1漢字の書　文字の造形を学ぶ〈楷書〉	・楷書の端正な美しさを味わう。 ・用筆・運筆・結構法 ・「孔子廟堂碑」の書風について ・結構と用筆に注意して臨書 ・唐の四大家の人物 ・「孔子廟堂碑」と「九成宮醴泉銘」との比較を通し、書風の違いを分析 ・結構と運筆に注意して臨書 ・唐の四大家の楷書を鑑賞 ・楷書のやや高度な表現技法の習得 ・初唐の典型とは異なる古典を臨書。比較を通して書風の違い、表現の多様性の認識 ・線質や字形の特徴を分析。用筆・運筆・結構法 ・鑑賞	a:楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:結構が書風を大きく左右することに気づき、特徴を捉えて書くように表現に工夫している。 c:字形や用筆の特徴を理解し的確に表現している。 作者の人格と書風の関係について理解し作品のよさを味わっている。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート
	作品制作Ⅰ	・半切楷書作品	a:楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:結構が書風を大きく左右することに気づき、特徴を捉えて書くように表現に工夫している。 c:字形や用筆の特徴を理解し的確に表現している。 作者の人格と書風の関係について理解し作品のよさを味わっている。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート

2	1漢字の書　文字の造形を学ぶ〈行書〉 作品制作Ⅱ	基礎的な表現技法・楷書と行書の用筆・運筆・結構法 ・王羲之の「書聖」所以を説明 ・蘭亭序 ・点画の連続性を大切に臨書 ・字形のバランス分析と鑑賞 ・争座位稿 ・空海の書を鑑賞。 ・空海の人となり、時代背景について ・「蘭亭序」と比較し、印象の違いを確認 ・「風信帖」の用筆・運筆法 ・大筆と用いて楷書・行書 （全紙1／2） ・線の太細、墨の濃淡・潤渇について	a:線の太細、墨の濃淡、潤渇、全体校正への留意、および用筆や運筆法に身につけて、表現している。 b: 行書体に興味を持ち、日本文化としての書や、書学習について関心を持ち主体的に表現や創作活動に取り組んでいる。 c:王義之や空海の作品から書のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫している。 作者のよさや美しさを感じ取り、積極的に鑑賞し、味わっている。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート
	1漢字文字の造形を学ぶ	・真草千字文 ・曹全碑 ・泰山刻石	a:通行と公式の書体としての性質を確認し、表現していく。 b:草・隷・篆の各書体と書の歴史に関心を持って、主体的に取り組んでいる。 c:各書体の美しさを感じ取り、表現を工夫している。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート
	2仮名の書　文字の造形を学ぶ	・仮名の初歩的な技法を習得 ・いろは歌 ・仮名の成立と種類についての理解と読解 ・連綿の練習 ・平安時代の古筆の臨書 ・原寸大の臨書 ・いろは歌から集字。仮名を短冊に書く。 ・集字、草稿、清書の方法	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:日本人特有の仮名の美意識を持ち、自らの意図に基づいて工夫している。仮名の美しさやそのよさを理解し味わっている。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート

3	3漢字仮名交りの書 作品制作Ⅲ	・漢字仮名交じりの書とは ・創作する ・色紙作品制作 語句 の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作後色紙への清書 ・鑑賞	a: 今まで習得した基礎的な技法を生かして表現している。言葉選びや用材の使用について積極的に取り組んでいる。 b:用具や用材の違いによる表現の工夫や、文字の大小、運筆のリズムなどによる表現の工夫をしている。 c:漢字と仮名が美しく調和した書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート
	4篆刻	篆刻に挑戦する	a:篆書の知識と印稿と運刀の技術が理解出来ている。 b:古典作品と創作作品を鑑賞し、篆刻作品の表現が理解できている。 c:毛筆とは違う書道の美に対して関心、興味を持っている。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	ワークシート・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度